



東安居小学校 学校便り



6月



〒 918-8065 福井市水越 2 丁目 5 0 3
TEL (0776) 35-3806
FAX (0776) 35-3994
E-mail :h-ago-e@fukui-city.ed.jp

☆彡 タブレットを文房具のように

～ GIGA スクール構想 1 人 1 台端末の時代到来～

「GIGA スクール構想」、もともとはこれからの時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するために児童生徒の ICT 環境を整備することでしたが、昨年度からのコロナ禍で、世間的には緊急時においても子供たちの学びを保障できる環境を整備するという意味合いの方が強くなってきました。

福井市でもこのほどようやく 1 人 1 台端末が配置され（本校では低学年の台数がまだ足りていませんが）、設定作業が完了したところです。他の市町では既に昨年度より 1 人 1 台端末を使った授業の実践が行われているところもありますが、福井市ではこれからが本格的な活用の年になります。

ただ今年度は、ほぼゼロの積み上げからの端末活用ということもあり、まずはさわってみることから始め、学習活動のどのような場面に端末を使うことが有効なのか探っていく年になります。いずれ端末ひとつで、教科書・ノート・文房具全てをまかなえる時代が来るのでしょね。

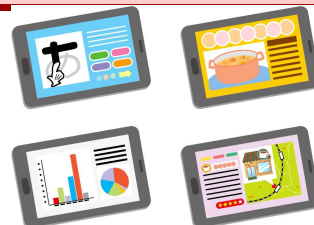


1 年生「学校探検」

グループごとに学校内のいろんな場所を探検して、インタビューして聞いたことや、撮影した画像をもとに、紹介し合う活動です。「みんなの教室にはないものを探して」と言ったら、校長室の洗面所を写していました。



3 年生はタイピングの練習に励んでいました。考えを書いたり、資料検索する時、ローマ字入力は必須です。ゲーム感覚で各自無理のないペースで楽しんでいました。



5 年生は、自分のフォルダに自撮り画像を取り込む作業をしています。自撮りに慣れていない子は、妙に変顔になるんですね。

☆彡 時代は変わっても、言葉を介した相互理解は不変

ネットを使えば、何でも知ることが出来るし、何でも買うことも出来ます。知らない人とも簡単に繋がることも出来ます。しかし、本当に相手のことを理解しようとするなら、互いの発する言葉のやりとりは欠かせません。

「自分の思いを伝えたい人の顔を見てはきはきと話す。」「話す人の方を向いて共感的に聞く。」「おはようございます。」「ありがとう。」「どんなに機械が発達しても同じ空間の中でのやりとりにはかないません。ライブ観戦とテレビ観戦では感動が全く違うように。

本校では、今年も「伝え合う活動」を学校生活全体で意識しながら進めていきます。



1年生が学校探検で保健室を訪問しています。相手の顔を見て礼儀正しくあいさつできたり、はきはきと質問できたりすることも、この活動の大きなめあてです。

4年生は、国語の時間、思いを伝えやすい話し方や聞き方について、グループ毎に体験的な活動を通して考えていました。自分だけではわからない、話し方の癖や良さを互いに伝え合い認め合いながら、温かい雰囲気の中で授業が進んでいきます。



☆彡 SNS のトラブルはいつも身近にある

中学校の先生と話をすることがあり、その中で最近、男子はオンラインゲーム上でのお金のトラブル、女子はインスタグラム上での誹謗中傷のトラブルが増えてきているという話を聞きました。いずれも、すぐには保護者や学校の目にとまることはなく、問題が重大化してから発覚することが多いので、解決には骨が折れるということでした。

先日も、ある学校で課金を巡って事件が発生したことから、本校においても下記のような指導を全校で行ったところです。保護者の皆様には、毎年お子様と一緒に「東安居っ子のスマートルール」の見直しをお願いしているところですが、明日は我が身、SNSを通してのお金の扱いや人権の尊重について、くり返しくり返し言い聞かせてやってください。大人のネット上のやりとりも酷いものです。

～本校で指導したこと～

- 1 ゲーム内での課金は、絶対にしない。
- 2 ゲーム内であっても、友達にプレゼントを強要しない。
- 3 もしも、誰かにそのようなことを言われたことがあれば、すぐにお家の人や先生に伝える。

